

2013年3月6日
バブコック日立株式会社

ポーランドの石炭火力発電所向け排煙脱硫装置を受注

株式会社日立製作所(執行役社長:中西宏明/以下、日立)のグループ会社であるバブコック日立株式会社(代表取締役社長:脇野 哲郎/以下、バブコック日立)は、このたび、ポーランド共和国(以下、ポーランド)の発電会社であるエネア・ヴィトバルザニエ社(ENEA Wytwarzanie S.A.(社長:Andrzej Pawel Schroeder(アンドユツ・パペウ・シュローダー))より、コジェニツェ火力発電所 1,2,7,8 号機(合計出力 860MW)の排煙を一括で処理できる脱硫装置を受注しました。2015 年 7 月に運転を開始する予定です。

欧州では、2016 年 1 月より、火力発電所から排出される硫黄酸化物(SO_x) や窒素酸化物(NO_x)の規制強化が決定しており、欧州各国の電力会社は脱硫および脱硝装置を追加設置するなどの対策を進めています。

バブコック日立の脱硫装置は、発電所から排出される石炭燃焼排ガスに含まれている SO_x 等を高い効率で除去でき、大気汚染の防止に有効です。バブコック日立は、1970 年代から脱硫装置を国内外に多数納入しており、ポーランドでも、2001 年から 2010 年にかけて、コジェニツェ火力発電所向けに 3 基を納入しています。

今回の受注は、ワルシャワ南南東約 70km に位置するポーランドで最大級の石炭火力発電所であるコジェニツェ火力発電所(総出力 2.8GW*) 1,2,7,8 号機の排煙を一括で処理する脱硫装置を追加設置するものです。2012 年 9 月に受注した新規建設の 11 号機向けに続くもので、過去に同発電所に納入した脱硫装置の高い信頼性が評価され、受注に至りました。今回の受注により、コジェニツェ火力発電所 1～11 号機全てにバブコック日立の脱硫装置が設置されることになります。

バブコック日立は、今後も多数の案件が見込まれる欧州市場や、アジア市場での受注活動を積極的に推進し、高効率な機器・システムの提供を通じて環境負荷低減に貢献していきます。

*既設 1～10 号機の合計出力

■照会先

バブコック日立株式会社 エネルギープラント本部 海外環境技術部 [担当:河田、中川]

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番1号

電話 03-5209-7313(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
